

事業所名	放課後等デイサービス ぐれいす		支援プログラム（参考様式）		作成日	令和7	年	3	月	10	日
法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 個人の尊重</li> <li>2. 存在意義のある企業</li> <li>3. 共存共栄</li> <li>4. 社会への貢献</li> </ul>										
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根差し、関わる人々から愛される子を育てていきます。</li> <li>・「できた」を積み重ね、自己肯定感を高めていきます。</li> <li>・様々な経験、体験を通して、その子自身が考えて行動ができるように関わっていきます。</li> </ul>										
営業時間		9時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無		あり	
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少しずつ自分でできることを増やしていくことで、日常生活の基本動作を獲得したり、生きていく為の力をつけていきます。スモールステップで取り組み、できたことを自信につなげ、自己肯定感や自分を大切にする力を培っていきます。</li> <li>・個別に配慮し、排泄、着脱、食事介助や身だしなみへの支援を行います。</li> <li>・畑で野菜を育てたり、調理をして食べたりすることで、食べられる食材を増やしたり、食への興味を育てていきます。</li> <li>・市販のおやつだけではなく、手作りのおやつや普段食べ慣れない物をおやつで提供することで、いろいろな食べ物に触れ、食べられる食材を増やしていきます。</li> </ul>									
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動プログラムや体を思い切り動かせる機会（外出活動など）を提供し、体を動かす楽しさを知ったり、気持ちの発散につなげていきます。</li> <li>・工作プログラムを実施し、季節に合わせた工作や行事の理解、いろいろな感覚に触れる経験、指示理解、手先の器用さの向上につなげていきます。苦手を考慮し、スモールステップで取り組み、褒める機会を増やしていきます。</li> <li>・理学療法士によるアセスメントを行い、お子様に合わせた機能向上のための助言や、必要に応じて機能訓練の機会を提供します（巨理事業所のみ）。</li> </ul>									
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応用行動分析の考えを用いながら、スモールステップでできることを褒め、自信や成長につなげていきます。</li> <li>・固執した考えから、いろいろな考え方や選択肢の幅を広げることができるような体験、経験を提供していきます。</li> <li>・自立に向けて、自分で頑張る力や、困った時に助けを求める力を培えるよう関わっていきます。</li> <li>・集団プログラムやルールのある活動を通して、チームで取り組む楽しさや、感情のコントロール、勝ち負けへの耐性を身につけていきます。勝っても負けてもお友達と関わって楽しかったという気持ちが高まるように支援していきます。</li> </ul>									
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様の好きな物や遊びを通して、発語を促したり、やりとりができるような環境を提供していきます。</li> <li>・言葉が出づらいお子様に関しても、好きな物や遊びから根気強く関わりを持つことで発語や感情表出の支援を行います。</li> <li>・言葉だけではなく、文字や絵カードなども使いながら適切なコミュニケーション手段を一緒に見つけていきます。</li> <li>・楽しみつつ文字や数字、時間などへの理解や着目を促したり、勉強時間（宿題、プリント、自立課題）を設けることで一定時間静かに集中する時間を設けていきます。</li> <li>・ソーシャルスキルトレーニング（SST）やロールプレイを通して、お友達との上手なやりとりを練習していきます。</li> <li>・はじまりの会、帰りの会などの機会を通して、みんなの前で発表をしたり、気持ちを伝えたりする場を設けていきます。</li> </ul>									
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな遊びを通して、職員との信頼関係を構築していきます。</li> <li>・ソーシャルスキルトレーニング（SST）を通して、自分の気持ちを上手に伝える、相手の気持ちを聞くなどのコミュニケーションの練習を行います。実際の場で練習をしたことが活かされた時に褒めながら、行動を定着させていきます。</li> <li>・大人になった姿を想像しながら、社会生活で困るであろう行動については適切な方法を伝え、練習していきます。</li> <li>・集団遊びや生活のプログラム（お買い物練習など）を通して、社会に必要なルールやマナーを学んだり、金銭への理解へつなげていきます。</li> <li>・特に祝日や長期休みに関しては、外出体験を多く行っていきます。公共交通の使い方、調理体験、初めての場所へ行ってみるなどの体験を通して、いろいろな場所や人に慣れる、社会に出る楽しさを知る、ルールやマナーを学べるように機会提供を行います。不安がある子に向け、事前に予告や写真でイメージをつけてもらったり、事前に事業所内で練習をしてから外出をするステップを踏んでいきます。</li> </ul>									
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳の記載や送迎を通して、お子様の様子を伝えていきます。</li> <li>・年1～2回親子行事（運動会、芋煮会など）を行い、親子でのふれあいや親御さん同士の関わりの機会を設けていきます。</li> <li>・電話や対面での相談援助、個別面談の機会を設けていきます。</li> <li>・ご家族向けのお便りを発行し、お子様の様子を伝えていきます。</li> </ul>				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所間で合同イベントを行うことで、いろいろなお友達との交流を深めていきます。</li> <li>・外出体験（公園、お店、公共交通、公共施設など）を通して外へ出る機会を多く設けていくことで、社会でのルールやマナーを学び、自分でできることを増やしていきます。</li> </ul>				
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や相談支援事業所などの必要な関係機関と連携し、情報共有しながら支援を行います。</li> <li>・外出体験（公園、お店、公共交通、公共施設など）を通して外へ出る機会を設けていきます。</li> <li>・SNSを活用し、施設の活動を発信していきます。</li> </ul>				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・（定期）虐待防止研修、感染症予防研修、救命救急講習、防災訓練</li> <li>・（随時）強度行動障害養成研修、発達障害者支援研修、対人援助研修、てんかん研修など必要に応じて職員のスキルアップに努めています。</li> </ul>				
主な行事等	各月の季節行事（お花見、夏祭り、バーベキュー、運動会、クリスマス会、初詣、バレンタインデーなど）の他、体験型（電車でおでかけ、クッキング、買い物体験、外食体験、ピザづくり、そばづくりなど）のイベントを多く行っています。保護者参加型の行事も行っています。										